

株式会社オイル・リサイクル サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 7 月 10 日

株式会社北洋銀行
北十五条支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社オイル・リサイクル	
代 表 者 名	前田 慎一	
所 在 地	北海道札幌市白石区北郷 2405 番地 27	
資 本 金	100 万円	
従 業 員	8 名 (2025 年 7 月現在)	
業 種	廃棄物処理業	
事 業 内 容	廃食油を回収し、BDF や SAF の原材料として販売	
沿 革	2012 年	株式会社白老油脂札幌として設立 (資本金 100 万円)
	2016 年	株式会社白老油脂札幌の株式を前田 慎一氏が取得し、株式会社オイル・リサイクルに社名変更
	2017 年	前田 慎一氏が代表取締役に就任

2. 事業の存在意義

事業の存在意義

私たちの仕事は、地球のエネルギーを再利用するために必要なセクションです。

株式会社オイル・リサイクルは、廃食油の回収および再資源化を通じて、脱炭素社会と資源循環の実現に貢献している企業である。特に、家庭系廃食油の効率的な回収スキームを独自に構築し、札幌市をはじめとする複数自治体と連携しながら、先進的な地域循環モデルを展開しているのが特徴である。株式会社オイル・リサイクルのビジネスは、単なる事業活動にとどまらず、脱炭素社会の実現に向けた重要な役割を担っている。

3. 事業概要

株式会社オイル・リサイクルは BDF (Bio Diesel Fuel) や SAF (Sustainable Aviation Fuel) といった再生可能エネルギーの生産に不可欠な、廃食油の回収および販売を行う企業である。

BDF とは、バイオディーゼル燃料の略称で、廃食油などを原料とするディーゼルエンジン用の代替燃料のことであり、使用済みの天ぷら油などの廃食油を精製し、ディーゼルエンジンで使用できるようにしたものである。限りある化石燃料の消費を抑え、エネルギーの安定供給に貢献するほか、原料が植物由来であるため、大気中の CO2 を増加させない「カーボンニュートラル」な燃料としてトラック、重機、発電機、ボイラーなど、軽油を使用する様々な機器で利用可能となっている。

SAF とは、持続可能な航空燃料の略称で、従来の化石燃料由来のジェット燃料に代わる、環境負荷の少ない航空燃料である。廃食油や藻類、木くずなどを原料としており、従来のジェット燃料と比較して、生産から燃焼までのサイクルで二酸化炭素排出量を大幅に削減できるため、カーボンニュートラル実現に向けた切り札として注目されている。日本でも、SAF の導入促進に向けた官民協議会が開催されており、国産 SAF の開発・製造の推進や、石油元売り事業者と航空会社との連携などが進められていることから、いずれも脱炭素社会の実現に欠かせない燃料として、技術開発や社会実装が期待されている。

■スーパーなどに設置されている廃油回収 BOX



■回収した廃油を自社で精製している様子



出所：株式会社オイル・リサイクル 提供資料

廃食油の回収エリアは札幌市をはじめ、小樽、石狩、江別、恵庭、北広島等の自治体との協働体制が確立されており、各市の公共施設やスーパーマーケット等に廃油回収ボックスを設置し、自社のトラック 5 台で回収業務を行っている。事業系および家庭由来の廃食油を合わせて月間約 70 トン回収しており、回収した廃食油は自社で精製し、バイオマス燃料の原料として国内外に供給している。国内においては、道路建設及び舗装工事業者や水産事業者などに対して、ボイラー燃料として販売している。また、海外においては SAF の原料として韓国やマレーシアなどへ輸出を行っている。北海道油脂事業協同組合の資料によると、札幌市における植物油の年間販売量は約 6,724 トンであり、理論上の回収可能量は約 1,681 トンと推計される。しかし、現時点での実際の回収量は年間約 192 トン（回収率 11.4%）にとどまっており、家庭系廃食油の回収には大きな成長余地がある。こうした状況を鑑みると、株式会社オイル・リサイクルの更なる活動拡大は、環境負荷の低減だけでなく、地域住民の意識向上や自治体施策との親

和性という観点からも、きわめて有意義であると考えられる。また市民のリサイクル意識の向上にも寄与しており、単なる廃棄物処理ではなく、「参加型リサイクル社会」の形成に向けた実効的な取り組みを実施している点は、地域社会の持続可能な取り組みにも貢献している。

株式会社オイル・リサイクルの事業は、再生可能エネルギー原料の安定供給という観点から、脱炭素社会の構築に直結するものである。特に、使用済み食用油を適切に回収・再利用することで、廃棄物の削減のみならず、温室効果ガスの排出抑制に貢献しており、資源循環型経済の中核を担う存在である。また航空業界が脱炭素化を進める中で、株式会社オイル・リサイクルは SAF の原料供給元としての役割は今後ますます重要性を増すことが予想される。

■精製した廃食油を再製品化



■再製品化したものを各地域へ出荷



出所：株式会社オイル・リサイクル 提供資料

4. サステナビリティ目標

株式会社オイル・リサイクルの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社オイル・リサイクルの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社オイル・リサイクルのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	① 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 ② 温室効果ガス排出量を 2030 年まで毎年 2.7%以上削減する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進 ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ② 有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。